

令和3年度普及活動外部評価の実施について

高知県では、普及活動が高度化・多様化するなか、外部の有識者等から、普及活動全般にわたり、幅広い視点から客観的な評価を受け、その結果を今後の効率的かつ効果的な普及活動の推進に資することを目的に、普及活動外部評価を実施しています。

令和3年度の普及活動外部評価を下記のとおり実施しましたので、その結果を報告します。

高知県普及活動外部評価の実施について

1 外部評価委員

分野	評価委員	
		氏名
先進的な農業者	高知県指導農業者連絡協議会	副会長 にしごみ こういち 西込 浩一 氏
若手・女性農業者	高知県農村女性リーダー	かごたに りか 籠谷 理香 氏
農業関係団体	高知県農業協同組合	営農販売事業本部 営農指導部長 おじま のぶゆき 小島 信行 氏
消費者	高知県食の安全・安心推進審議会	消費者代表委員 (RKC調理製菓専門学校校長) みたに ひでこ 三谷 英子 氏
学識経験者	国立大学法人高知大学農林海洋科学部	農林資源環境科学科 准教授(蔬菜園芸学) にしむら やすよ 西村 安代 氏
マスコミ	日本農業新聞	高知通信部 記者 はまうず みつひこ 濱渦 光彦 氏
民間企業	NTT西日本 高知支店	副支店長 いけだ のりひこ 池田 憲彦 氏

2 外部評価対象所属（評価資料、評価結果）

- (1) 中央西農業振興センター高知農業改良普及所 評価対象 1
- ・普及指導活動の体制等（人員配置・活動の進捗管理・資質向上の取組状況等）
 - ・令和2年度普及指導活動実績の概要一覧
 - ・令和3年度普及指導活動計画の概要一覧
 - ・評価対象課題の実績（2年度）及び計画（3年度）の概要
普及指導活動成果事例及び現地事例紹介
（総合課題『キュウリの生産対策の強化による産地振興』）
※普及事業の評価結果及び改善方向に関する助言・提言
- (2) 安芸農業振興センター農業改良普及課 評価対象 2
- ・普及指導活動の体制等（人員配置・活動の進捗管理・資質向上の取組状況等）
 - ・令和2年度普及指導活動実績の概要一覧
 - ・令和3年度普及指導活動計画の概要一覧
 - ・評価対象課題の実績（2年度）及び計画（3年度）の概要
普及指導活動成果事例
（重点課題『日本一のナス産地の維持・拡大』）
※普及事業の評価結果及び改善方向に関する助言・提言
- (3) 須崎農業振興センター農業改良普及課 評価対象 3
- ・普及指導活動の体制等（人員配置・活動の進捗管理・資質向上の取組状況等）
 - ・令和2年度普及指導活動実績の概要一覧
 - ・令和3年度普及指導活動計画の概要一覧
 - ・評価対象課題の実績（2年度）及び計画（3年度）の概要
普及指導活動成果事例（総合課題『多様な担い手による中山間農業の再編』）
※普及事業の評価結果及び改善方向に関する助言・提言
- (4) 普及事業の評価結果及び改善方向に関する助言・提言（全体を通して） 評価結果 1

3 外部評価会の日程

- (1) 日 時：令和3年11月19日（金）13：00～17：00
- (2) 場 所：高知共済会館 3階大会議室「桜」
（高知市本町5丁目3-20）
- (3) 出席者：外部評価委員7名、普及指導員等23名
- (4) 内 容：
- ①外部評価
活動実績等の発表及び質疑
 - ・中央西農業振興センター高知農業改良普及所
 - ・安芸農業振興センター農業改良普及課
 - ・須崎農業振興センター農業改良普及課
 - ②外部評価委員会
評価委員による各所属に対する評価のまとめ
 - ③外部評価結果の発表
各外部評価委員及び外部評価委員長から講評

4 外部評価委員による講評

<各外部評価委員の講評>

- 目標設定の仕方として、中長期的な目標のゴールから遡って目標を立てる。高い目標だけでなく、モチベーションが維持できるよう少し頑張れば達成できる目標も設定する
- 普及が中心となり、関係機関と連携することで計画的な活動ができている
- 今後も営農指導員と連携し、普及しかできないこと、普及だからこそできることをすすめてもらいたい
- 農業のデジタル化は欠かせないが、最終的には現場で直接関わる普及指導員の人間力が必要だと思う。熱い思いを持って活動していることを感じた
- ICTの取組がすすんでおり、私がこの評価に携わった3年間で質が高まってきている。データの収集・分析・フィードバックまで連携、協力がとれており、産地全体のレベルアップにつながっている
- 新規就農者や移住者と十分にコミュニケーションがとれていたか心配する。高知は良い自然環境があるが、生活インフラが弱いことが課題と感じた
- 50代以上の農家には、男尊女卑などの古い考え方の人がいる。女性の地位向上についても取組をすすめてもらいたい

<外部評価委員長による講評>

- OJTを重視した対応や研修等を通して、新任者教育をはじめ職員の資質向上に努めており、若い人材が育っていると感じた
- コロナ禍でもデータ活用するなど普及活動を頑張って成果を上げている。日頃の努力で農家との信頼関係ができているからだと思う。

5 主な評価結果に対する普及指導計画（活動）の改善方向

今後の改善方向

評価結果2